

## 「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」 中央しおり保育園

### 評価点オールAをいただいて

認定こども園中央しおり保育園として第三者評価に参加するのは初めてですが、17年前、2005年11月に杉の実保育園の園長をしていた時に参加しました。まだ、第三者評価そのものが定着していない時代でした。保育所保育指針改定により、「地域交流事業や保護者支援」が加わり、保育士は自分たちの仕事は「園児を保育すること」で、「地域交流？保護者対応？なぜ、そんなことまでしないとイケないの？」という思いでした。そういう時、第三者評価の話があり手を挙げました。パートの職員も含み職員全員で取り組みました。「この評価項目は今から先、保育園として取り組むことが求められている項目」ということを皆で納得していきました。それからは「地域交流事業や保護者支援」などにも、積極的に取り組んでいきました。

認定こども園中央しおり保育園を2019年に設立して4年目です。新しい船出と一緒にしてきた職員たちと、保育目標、保育の考え方を少しずつすり合わせてきました。この時期に第三者評価に参加することにより、中央しおり保育園の運営・保育を充実させたいと考えました。

評価を受け結果発表の日は、朝から職員も落ち着かない様子でした。市の担当者が、おもむろに評価結果をまとめた冊子を二部差出しました。こわごとと冊子を手にとると「オールAですよ。こんなに素晴らしい保育園であることに、評価委員の方も非常に感心していました。」と言葉を添えてくださいました。

「認定こども園の第三者評価は中央しおり保育園が初めてです。評価委員の方はこの結果を見て、保育所型認定こども園が、しっかり保育園運営をしていることの確信ができ安心していました。」と、言葉をつながれました。準備は大変でしたが、一つの目標に向かって成し遂げた充実感、しかもオールAという素晴らしい評価をいただきました。これからも職員とともに子ども達・保護者・地域の方々の「しおり（みちしるべ）」となれる保育園づくりを目指していきます。